

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

朝来市長 藤 岡 勇

市町村名 (市町村コード)	朝来市 (282251)	
地域名 (地域内農業集落名)	朝来市山東町梁瀬地域 (諏訪区)	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年6月19日 (第6回)	

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

- ・雇用形態(定年延長、再雇用)の変化に伴い、担い手がない。
- ・長年に渡り営農組合に委託してきたことで農業(米作り等)に対する関心がない。

(2) 地域における農業の将来の在り方

- ・米作りを主要作物とし、地域の特産物である岩津ねぎ等の栽培の検討を進める。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	23.3 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	19.9 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

- ・地区内の農地全体(多面的機能支払制度の対象農地を含む)を地域計画の区域とする。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
・認定農業者への委託を検討する。
(2)農地中間管理機構の活用方針
・土地の賃借は市の農林振興課を活用していく。
(3)基盤整備事業への取組方針
・現に基盤整備しているが必要に応じ検討する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
・他の認定農業者にも委託体制をつくっていく。 ・若い担い手の育成を推進していく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
・現在のJA共同防除を継続していく。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☒ ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

- ① 定期的に鳥獣防止柵の修理等を行っていく。
⑩ 遊休農地を発生させない。